

Be the Best, Be the One 2014

2014年度 第2四半期決算

2014年11月4日
住友商事株式会社



Topics

1. 2014年度 第2四半期決算総括
2. 2014年度 通期見通し
3. 配当金及び役員報酬/役員賞与
4. BBBO2014進捗状況
5. 次期中期経営計画に向けて

将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

1. 2014年度 第2四半期決算総括

(単位: 億円)	2013年度 第2四半期実績	2014年度 第2四半期実績	前年比
当期利益 又は 損失(△)	1,166	△384	△1,550
基礎収益	1,139	1,157	+18
(うち、資源ビジネス)	(151)	(31)	(△120)
(非資源ビジネス)	(988)	(1,126)	(+138)

- ✓ 米国タイトオイル開発事業 及び 豪州石炭事業 減損(計△1,673億円)
- ✓ 資源ビジネス: 市況価格の下落、
大型投資案件の費用先行等により低調に推移
- ✓ 非資源ビジネス: コアビジネスが堅調に推移

2. 2014年度 通期見通し

(単位: 億円)	2014年度 (期初予想)	2014年度 (見通し)	2014年度 第2四半期実績
当期利益 又は 損失(△)①+②	2,500	100	△384
大型投資案件の減損(見込)等①	(—)	△2,400	△1,673
当期利益 又は 損失(△) (大型案件の減損(見込)等除く)②	2,500	2,500	1,289

- ✓ 大型投資案件の減損を見込む △2,400億円
 (第2四半期計上の減損案件に加え、下期にはブラジル鉄鉱石事業、
米国タイヤ事業について減損の可能性を見込む)
- ✓ 資源ビジネス: 資源価格下落により厳しい事業環境が継続
- ✓ 非資源ビジネス: コアビジネスが堅調に推移
近年の投資案件が収益貢献

3. 配当金及び役員報酬/役員賞与

■ 2014年度配当金

〔2014年9月29日
公表〕〔2013年度
実績〕

期末配当金:25円/株

(未定)

(24円/株)

中間配当金:25円/株

(25円/株)

(23円/株)

年間配当金:50円/株

(47円/株)

■ 役員報酬/役員賞与

4. BBBO2014進捗状況

(1) 投融資/資産売却・削減実績

(単位:億円)	2013年度 実績	2014年度 第2四半期実績	BBBO2014 見通し (2年合計) (2014年10月時点)	BBBO2014 計画 (2年合計) (2013年5月時点)
投融資	2,900 (※)	2,200 (※)	7,500	7,500
資産売却・削減 (キャッシュ回収額)	△2,500 (1,900)	△600 (500)	△4,700	△7,700

■ 2014年度第2四半期実績

＜投融資＞

- ・豪州 一般炭権益 新規取得
- ・マレーシア アルミ製錬事業 拡張
- ・ベルギー 洋上風力発電事業 等

＜資産売却・削減＞

- ・英領北海油田 一部資産売却 等

(※) 投融資実績の詳細は参考資料参照(P27)

4. BBBO2014進捗状況

(2) 主要経営指標

	14/3末	14/9末	BBBO2014終了時 15/3末 (14年10月時点見直し)
総資産	8兆6,687億円	8兆8,130億円	8兆8,000億円
株主資本	2兆4,047億円	2兆4,281億円	2兆4,800億円
株主資本比率	27.7%	27.6%	30%程度
有利子負債 (Net)	3兆1,235億円	3兆4,109億円	3兆4,700億円
DER(Net)	1.3倍	1.4倍	1.4倍程度
ROA	2.7%	—	0.1%
リスク・リターン	10.9%	—	0.4%
フリーキャッシュ・フロー	284億円	△1,971億円 <small>累計 約△1,700億円</small>	△2,000億円程度 <small>BBBO2014 2年合計</small>
リスク・アセット (コア・リスクバッファ)※	2兆1,923億円 (2兆2,654億円)	2兆2,478億円 (2兆2,676億円)	2兆4,000億円 (2兆3,200億円)

※コア・リスクバッファ＝資本金+剰余金+外貨換算調整勘定-自己株式

5. 次期中期経営計画に向けて①

■ 今後の対応

➤ 経営改革特別委員会

- ・コーポレートガバナンスや意思決定プロセスを見直し
リスク管理体制を再強化

➤ 資源上流戦略の見直し

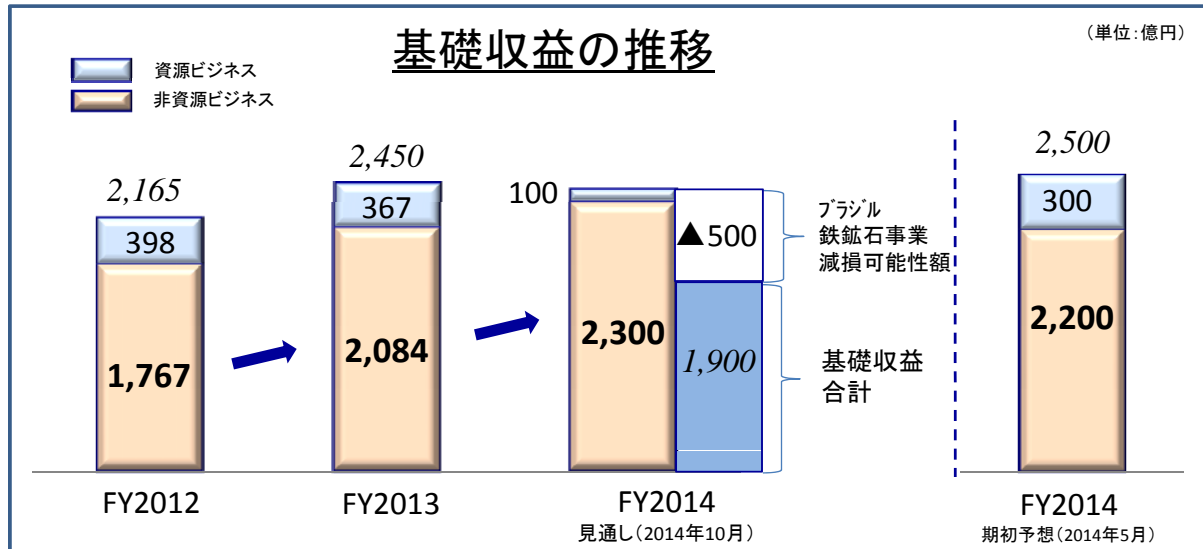
- ・新規案件：戦略見直し中
- ・当面は、立ち上げ中の案件に注力

5. 次期中期経営計画に向けて②

■ 次期中期経営計画の方向性

経営改革の推進と収益力の継続的な強化

- ・コアビジネスの強化と資産入替の継続
- ・創出したキャッシュによる株主還元と再投資



<MEMO>

<MEMO>

(以下補足資料)

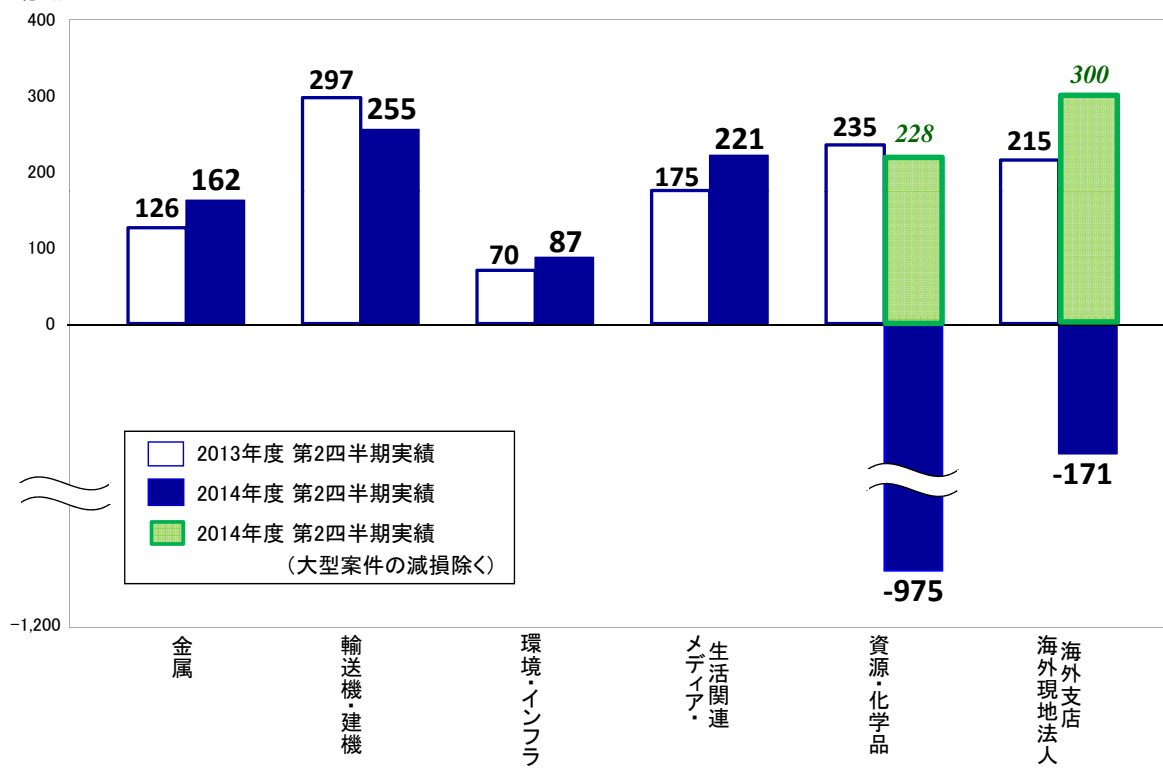
- 2014年度 第2四半期決算 補足説明資料
 - ・ セグメント別当期利益 第2四半期実績
 - ・ セグメント別当期利益 通期見通し
 - ・ 大型投資案件の減損(見込)内訳
 - ・ 財政状態/キャッシュ・フロー

- 前提条件

- セグメント別業績概要

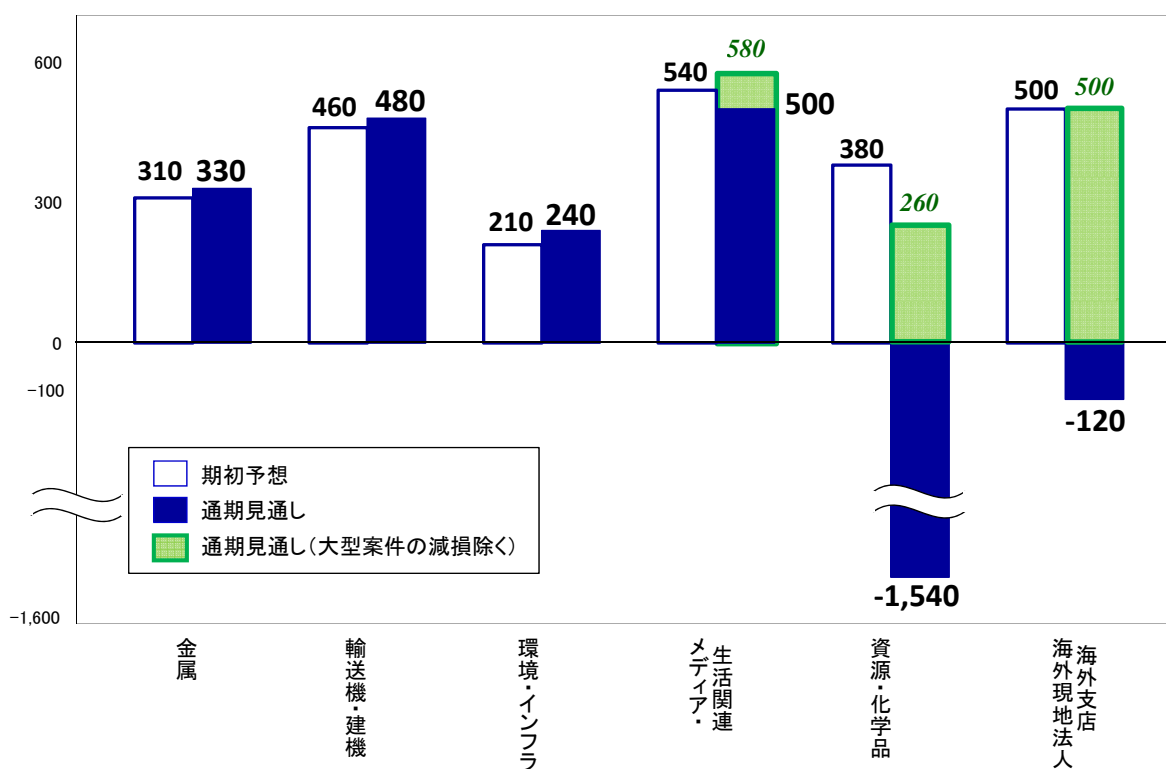
2014年度 セグメント別当期利益 第2四半期実績

(単位:億円)



2014年度 セグメント別当期利益 通期見通し

(単位:億円)



大型投資案件の減損(見込)内訳

(単位:億円)	2014年度 第2四半期実績	2014年度 通期見通し	2014年9月29日公表 影響額
米国タイトイル開発プロジェクト	△1,736	△1,736	約△1,700
豪州石炭事業	△175	△300	約△300
ブラジル鉄鉱石事業	—	△500	約△500
米国タイヤ事業(TBC)	—	△200	約△200
税効果等	+238	+336	約+300
合計	△1,673	△2,400	約△2,400
内、メディア・生活関連事業部門	0	△80	
資源・化学品事業部門	△1,203	△1,797	
海外現地法人・海外支店	△470	△622	
全社又は消去	—	+99	

財政状態/キャッシュ・フロー

<財政状態>

	(単位:億円)		
	2014年度 第2四半期 (2014/9末)	前期 (2014/3末)	増減
総資産	88,130	86,687	1,443
株主資本	24,281	24,047	234
(内、未実現有価証券評価損益)	(1,743)	(1,512)	(231)
(内、外貨換算調整勘定)	(2,983)	(2,069)	(914)
株主資本比率	27.6%	27.7%	0.1pt悪化
有利子負債 (現預金Net)	34,109	31,235	2,874
D/E Ratio(Net)	1.4	1.3	+0.1pt

<キャッシュ・フロー>

	(単位:億円)	
	2014年度 第2四半期 累計 (2014/4-9)	前年同期 (2013/4-9)
営業活動	773	501
投資活動	△2,744	△1,394
<フリー・キャッシュ・フロー>	<△1,971>	<△893>
財務活動	△288	337
換算差額等	145	61
キャッシュの増減額	△2,115	△495

前提条件

前提条件		2014年度			センシティブティ ^{*1} (2014年10月時点)
		期初予想	上半期実績	下半期見通し	
為替 (¥/US\$) (4-3月平均)		100.00	103.01	105.00	約13億円 (1¥/US\$)
金利	LIBOR 6M (YEN) (4-3月平均)	0.20%	0.18%	0.20%	—
	LIBOR 6M (US\$) (4-3月平均)	0.40%	0.33%	0.40%	—
原油(北海プレント) (US\$/bbl) (1-12月平均)		106	109	103	約0.1億円 (1US\$/bbl)
銅 (US\$/t) (1-12月平均)		6,834	6,914	6,976	約2.3億円 (100US\$/t)
亜鉛 (US\$/t) (4-3月平均)		2,086	2,193	2,151	約11.0億円 (100US\$/t)
鉄鉱石 (US\$/t) (1-12月平均) ^{*2}		125	112	90	約3.3億円 (1US\$/t)
原料炭 (US\$/t) (4-3月平均) ^{*2}		120	120	120	約2.4億円 (1US\$/t)

*1 為替はヘッジ後、その他はヘッジ前の数値

*2 鉄鉱石、原料炭は市場情報に基づく一般的な取引価格

セグメント別業績概要

※2014年4月1日付で、関西ブロック・中部ブロックを廃止し傘下にあった営業組織を事業部門傘下の組織に組み入れました。これに伴い、過去の数字も組み替えて表示しております。

18

金属

【当期利益 2Q累計: 162億円 (前年同期比+36億円)】

- ・鋼材
スチールサービスセンター事業 堅調
- ・鋼管
北米鋼管事業 堅調

【主な投資・入替実績】

- ・マレーシア アルミニウム製錬事業
第二期プロジェクト参画 (2014年4月)

【FY14通期見通し】

- ・北米鋼管事業 堅調
- ・スチールサービスセンター事業 堅調

(単位: 億円)	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
売上総利益	441	517	-	1,030
営業活動に係る利益	149	204	-	-
持分法による投資利益	32	33	-	-
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	126	162 1Q:79 2Q:83	330	310
基礎収益	121	163	-	-
資産合計	2014/3末 8,844	8,862	-	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】 (単位: 億円)

会社名(当部門持分割合/全社持分割合): FY13 FY14 FY14 (参考)
2Q累計 2Q累計 見通し 期初予想

・SC Pipe Services :	14	16	28	24
・ERYNGIUM(30/100)*1 :	7	9	17	16
・住商メタルックス :	7	6	14	13
・Edgen Group(29/100) :	-	3	11	11

*1 FY13.4Qより連結対象期間を変更しており、FY13.2Q累計は2013年1月～6月の持分損益を、FY14.2Q累計は2014年4月～9月の持分損益を記載しております。

輸送機・建機

【当期利益 2Q累計: 255億円 (前年同期比△42億円)】

- ・船舶・航空宇宙・車輛
海運市況低迷
- ・自動車
インドネシア自動車金融事業減益
- ・建機
ロシア、中国の販売事業で減速が見られるも、
米国事業堅調

【主な投資・入替実績】

- ・サウジアラビア 建機販売代理店に出資(2014年7月)

【FY14通期見通し】

- ・中東等 一部新興国の情勢悪化による自動車事業の低迷
- ・リース・ファイナンス事業 堅調

(単位:億円)	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
売上総利益	637	615	-	1,330
営業活動に係る利益	197	140	-	-
持分法による投資利益	166	159	-	-
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	297	255 1Q:125 2Q:130	480	460
基礎収益	280	260	-	-
資産合計	2014/3末 14,435	15,131	-	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】(単位:億円)

会社名(当部門持分割合/全社持分割合): FY13 FY14 FY14 (参考)
2Q累計 2Q累計 見通し 期初予想

・三井住友ファイナンス &リース(35/40) :	91	87	156	147
・住友三井オートサービス :	23	25	41	38
・SOF(90/100) :	13	17	27	25
・Oto Multiartha(90/100) :	23	7	18	9
・住商機電貿易(60/100)*1 :	2	5	8	8

*1 FY14より当部門持分割合を44.5%から60%に変更しています。

環境・インフラ

【当期利益 2Q累計: 87億円 (前年同期比+17億円)】

- ・海外電力事業 堅調

【主な投資・入替実績】

- ・米国風力発電所 建設開始(2014年4月)
- ・国内バイオマス発電所 建設開始(2014年6月)
- ・ベルギー洋上風力発電事業 参画(2014年9月)
- ・ベトナム工業団地 拡張工事進捗
- ・国内太陽光・風力発電所、南アフリカ風力発電所、
ミャンマー工業団地 建設進捗

【FY14通期見通し】

- ・海外電力事業 堅調
下期に新規案件の収益貢献を見込む
- ・下期 再生可能エネルギー発電分野における
バリュー実現を見込む

(単位:億円)	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
売上総利益	322	308	-	660
営業活動に係る利益	89	94	-	-
持分法による投資利益	16	21	-	-
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	70	87 1Q:30 2Q:57	240	210
基礎収益	61	73	-	-
資産合計	2014/3末 5,970	5,930	-	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】(単位:億円)

会社名(当部門持分割合/全社持分割合): FY13 FY14 FY14 (参考)
2Q累計 2Q累計 見通し 期初予想

・住商グローバル・ ロジスティクス*1 :	6	7	13	11
・Perennial Power Holdings(40/100)*2 :	3	3	4	4

*1 FY14より当部門持分割合を95%から100%に変更しています。

*2 FY14より当部門持分割合を50.01%から40%に変更しています。

メディア・生活関連

【当期利益 2Q累計: 221億円 (前年同期比+47億円)】

- ・J:COM、ショップチャンネル等 主要事業会社 堅調
- ・住宅分譲事業 引渡戸数減少

【主な投資・入替実績】

- ・タイ製糖事業への出資(2014年4月)
- ・ミャンマー通信事業参入に合意(2014年7月)
- ・私募REIT設立(2014年8月)

【FY14通期見通し】

- ・J:COM、ショップチャンネル等 主要事業会社 堅調
- ・不動産事業 堅調
- ・TBC 減損懸念

◆ Sumitomo Corporation

(単位:億円)	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
売上総利益	1,376	1,368	-	3,010
営業活動に係る利益	132	125	-	-
持分法による投資利益	153	168	-	-
当期利益又は損失(Δ) (親会社の所有者に帰属)	175	221 1Q:96 2Q:126	500 (内、減損Δ80)*	540
基礎収益	197	229	-	-
資産合計	2014/3末 18,712	17,957	-	-

* 2014年9月29日に公表した、米国タイヤ事業(TBC)における減損計上(見込)額の内、当セグメントへの影響額を記載しております。

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】(単位:億円)

会社名(当事業部門持分割合/全社持分割合)	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
・J:COM*1 :	108	125	256	257
・ショップチャンネル :	32	33	72	72
・SCSK :	27	29	73	75
・バナナ事業会社2社 :	14	13	16	15
・サミット :	1	12	20	20
・MobiCom :	6	6	9	8
・住商セメント(98/100) :	3	4	10	10
・豪州穀物事業(70/100)*2,3 :	Δ2	1	8	7
・住商ブランドマネジメント(99.08/100) :	4	Δ0	4	7
・TBC(40/100) :	Δ4	Δ6	Δ93	3

*1 2013年12月にJCNと経営統合したことに伴い、持分損益の記載方法を当社連結上の処理を加味した金額に変更しております。

*2 持分比率FY13.2Q:35%

*3 FY13.4Qより連結対象期間を変更しており、FY13.2Q累計は2013年3月~8月の持分損益を、FY14.2Q累計は2014年4月~9月の持分損益を記載しております。

資源・化学品

【当期利益 2Q累計: Δ975億円 (前年同期比Δ1,210億円)】

- ・米国タイトオイル開発プロジェクト: 減損損失計上
- ・豪州石炭事業: 減損損失及び権益取得費用の計上
- ・マダガスカルニッケル事業: 商業生産開始に伴うコストあり
- ・南ア及びブラジル鉄鉱石事業: 価格下落
- ・化学品・エレクトロニクス分野: 堅調

【主な投資・入替実績】

- ・中国フェノール製造事業参画(2014年4月)
- ・豪州石炭権益取得(2014年5月)
- ・北海油田権益一部売却(2014年7月)

【FY14通期見通し】

- ・資源価格下落による減益
- ・ヌサ・テンガラ・マイニング 販売数量減少による減益
- ・米国タイトオイル開発プロジェクト、豪州石炭事業 減損、ブラジル鉄鉱石事業 減損懸念

◆ Sumitomo Corporation

(単位:億円)	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
売上総利益	392	375	-	970
営業活動に係る利益	88	Δ1,335	-	-
持分法による投資利益	168	57	-	-
当期利益又は損失(Δ) (親会社の所有者に帰属)	235	Δ975 (内、減損Δ1,203)* 1Q:33 2Q:Δ1,008	Δ1,540 (内、減損Δ1,797)*	380
基礎収益	204	102	-	-
資産合計	2014/3末 16,145	16,115	-	-

*2014年9月29日に公表した、米国タイトオイル開発プロジェクト、豪州石炭事業、ブラジル鉄鉱石事業における減損計上(見込)額の内、当セグメントへの影響額を記載しております。

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】(単位:億円)

会社名(当事業部門持分割合/全社持分割合)	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
・ポリビア銀・亜鉛・鉛事業会社2社(93/100) :	22	62	115	100
・Oresteel Investments(45/49) :	73	45	62	98
・エルエヌジー・ジャパン :	10	36	75	61
・SC Minerals America(84.75/100) :	27	18	40	40
・ブラジル鉄鉱石事業会社 :	22	15	Δ469	54
・住友商事ケミカル :	7	10	16	16
・北海油田事業権益保有会社2社 :	12	10	10	11
・SMM Cerro Verde Netherlands :	10	9	19	14
・スミロニクス :	6	7	15	15
・SC Mineral Resources(70/100) :	4	4	7	7
・ヌサ・テンガラ・マイニング :	1	Δ19	Δ26	27
・マダガスカルニッケル事業 :	Δ5	Δ45	Δ97	Δ112
・豪州石炭事業 :	3	Δ204	Δ356	Δ121
・米国タイトオイル事業(70/100) :	Δ1	Δ1,222	Δ1,211	3

資源権益持分生産量及びセンシティブティ

		FY13	FY14			センシティブティ (年間ベース/ 価格ヘッジ考慮前)	
		通期実績	1Q実績	2Q実績	通期見通し		
原料炭	持分出荷量〔百万t〕	3.1	0.8	0.4	3.0	2.4億円(税前) (\$1/t)	
	価格[\$/t]	153	120	120	120		
一般炭	持分出荷量〔百万t〕	2.5	0.6	0.7	5.6 ^{*1}	4.5億円(税前) (\$1/t)	
	価格[\$/t]	93	82	- ^{*2}	82		
鉄鉱石	内、ブラジル鉄鉱石事業	持分出荷量〔百万t〕	4.8	0.5	1.9	4.3	3.3億円 (\$1/t)
		持分出荷量〔百万t〕	2.0	0.5	0.5	1.6	
		価格[\$/t]	135	120	103	101	
マンガン鉱石	持分出荷量〔百万t〕	0.5	-	0.2	0.5	0.3億円 (\$1/t)	
	価格[\$/t]	259	251	215	221		
銅	内、ヌサ・テンガラ・ マイニング	持分生産量〔万t〕	4.5	1.2	1.0	4.5	2.3億円 (\$100/t)
		持分生産量〔万t〕	1.4	0.4	0.3	1.2	
		価格[\$/t]	7,326	7,038	6,790	6,945	

備考) 価格は市場情報に基づく一般的な取引価格。FY14通期見通し及びセンシティブティは、2014年10月時点の数値を記載しております。
Oresteel Investmentsの鉄鉱石、マンガンの持分出荷量は、半期ごと(2Q,4Q)に記載しております。

*1 2014年度取得の豪州Clermontの持分出荷量を含む。 *2 Index価格に連動。

資源権益持分生産量及びセンシティブティ

		FY13	FY14			センシティブティ (年間ベース/ 価格ヘッジ考慮前)
		通期実績	1Q実績	2Q実績	通期見通し	
銀	持分生産量 〔t(百万oz)〕	314(10.1)	78(2.5)	93(3.0)	364(11.7)	7.0億円 (\$1/oz)
	価格[\$/oz]	21.0	19.6	19.7	20.6	
亜鉛	持分生産量〔千t〕	170	39	50	194	11.0億円 (\$100/t)
	価格[\$/t]	1,909	2,073	2,312	2,172	
鉛	持分生産量〔千t〕	53	9	13	53	3.0億円 (\$100/t)
	価格[\$/t]	2,093	2,096	2,183	2,121	
原油、ガス	持分生産量 〔百万bbl〕	2.5	0.6	0.2	1.8	0.1億円 (\$1/bbl)
	価格[\$/bbl]	108	108	109	106	
LNG	持分生産量〔万t〕	35	8	9	34	-

備考) 価格は市場情報に基づく一般的な取引価格。FY14通期見通し及びセンシティブティは、2014年10月時点の数値を記載しております。

海外現地法人・海外支店

* 2014年9月29日に公表した、米国タイトオイル開発プロジェクト、豪州石炭事業、ブラジル鉄鉱石事業 及び 米国タイヤ事業(TBC)における減損計上(見込)額の内、当セグメントへの影響額を記載しております。

【当期利益 2Q累計: △171億円 (前年同期比△385億円)】

- ・米国タイトオイル開発プロジェクト 及び 豪州石炭事業 減損
- ・金属関連ビジネス 堅調

<海外広域4極>	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
米州	87	△ 324 (内、減損△450)*	△ 367 (内、減損△582)*	234
欧阿中東CIS	60	86	127	121
アジア大洋州	47	47 (内、減損△21)*	56 (内、減損△40)*	92
東アジア	20	20	47	50

【主な投資・入替実績】

- ・シカゴ オフィスビル取得(2014年4月)

【FY14通期見通し】

- ・金属関連ビジネス 堅調
- ・米国タイトオイル開発プロジェクト、豪州石炭事業 減損
TBC、ブラジル鉄鉱石事業 減損懸念

(単位:億円)	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
売上総利益	1,164	1,345	-	2,600
営業活動に係る利益	250	△197	-	-
持分法による投資利益	51	46	-	-
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	215	△171 (内、減損△470)* 1Q:125 2Q:△295	△120 (内、減損△622)*	500
基礎収益	208	251	-	-
資産合計	2014/3末 18,897	19,595	-	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】 (単位:億円)

会社名(当事業部門持分割合/全社持分割合)	FY13 2Q累計	FY14 2Q累計	FY14 見通し	(参考) 期初予想
・ERYNGIUM(70/100)*1 :	16	22	41	39
・Edgen Group(71/100) :	-	8	27	27
・ポリビア銀・亜鉛・鉛事業会社2社(7/100) :	2	5	8	7
・Perennial Power Holdings(60/100)*2 :	3	4	7	7
・Oresteel Investments(4/49) :	7	4	6	9
・SC Minerals America(15.25/100) :	5	3	7	7
・ブラジル鉄鉱石事業会社 :	0	0	△11	2
・TBC(60/100) :	△7	△9	△139	4
・豪州石炭事業 :	△5	△24	△48	△14
・米国タイトオイル事業 (30/100) :	△1	△524	△519	1

*1 FY13.4Qより連結対象期間を変更しており、FY13.2Q累計は2013年1月～6月の持分損益を、FY14.2Q累計は2014年4月～9月の持分損益を記載しております。

*2 FY14より当事業部門持分割合を49.99%から60%に変更しています。

セグメント別 投融資実績

(単位:億円)

	新規投融資計画 (2年合計)		2013年度実績	2014年度実績	
	投融資額	重点分野	投融資額	投融資額	主な投融資案件
金属	800	鋼管事業	580	170	・マレーシア アルミ製錬事業
輸送機・建機	1,600	自動車事業	200	260	・航空機エンジンリース事業
環境・インフラ	900	電力事業	330	460	・米国 風力発電事業 ・ベルギー 洋上風力事業
メディア・生活関連	1,300	メディア事業 不動産事業	560	280	・シカゴ オフィスビル取得 ・タイ 砂糖事業
資源・化学品	1,900	資源・エネルギー 上流事業	1,150	1,010	・既存案件への追加投資
全社育成分野/地域	1,000				
合計	7,500		2,900	2,200	

※国内・海外セグメントを含めて表示。
※全社育成分野/地域の投融資額は、各セグメントに配分予定。

